

2007年12月期 中間決算説明会

2007年7月30日

株式会社 ジュピターテレコム

目次

- 連結業績ハイライト
- オペレーションの状況
- 重点施策の状況
- 財務面の解説



連結業績ハイライト

2007年12月期 中間期連結業績 ハイライト

前年同期比2ケタの増収・増益

	当中間期	前年同期比	通期予想に対する 進捗率
営業収益	1,281億円	+24%	49%
営業利益	203億円	+30%	54%
税引前純利益	176億円	+30%	57%
純利益	115億円	+42%	56%
OCF*	519億円	+28%	-

*OCF = (営業収益) - (番組・その他営業費用) - (販売および一般管理費) + (株式報酬費用)

2007年12月期 中間期連結業績 ハイライト

ボリューム + バリュー 戦略の進展

ボリューム拡大

- 総加入世帯数: **258万 (+24%)**
- RGU合計*1: **451万 (+24%)**

バリュー向上

- バンドル率*2: **1.75 1.75 (CW社を除くと1.80)**
- ARPU *3: **7,653円 (- 65円)**
(CW社を除くと 7,915円 (+197円))
- デジタル化率*4: **44% 59%**

*1: RGU(Revenue generating unit)合計 = 提供サービス数の合計

*3: ARPU = 加入世帯当たり月次収益

*2: バンドル率 = 加入世帯当たり提供サービス数

*4: デジタル化率 = ケーブルテレビ加入世帯のうち、デジタルサービス加入世帯の比率



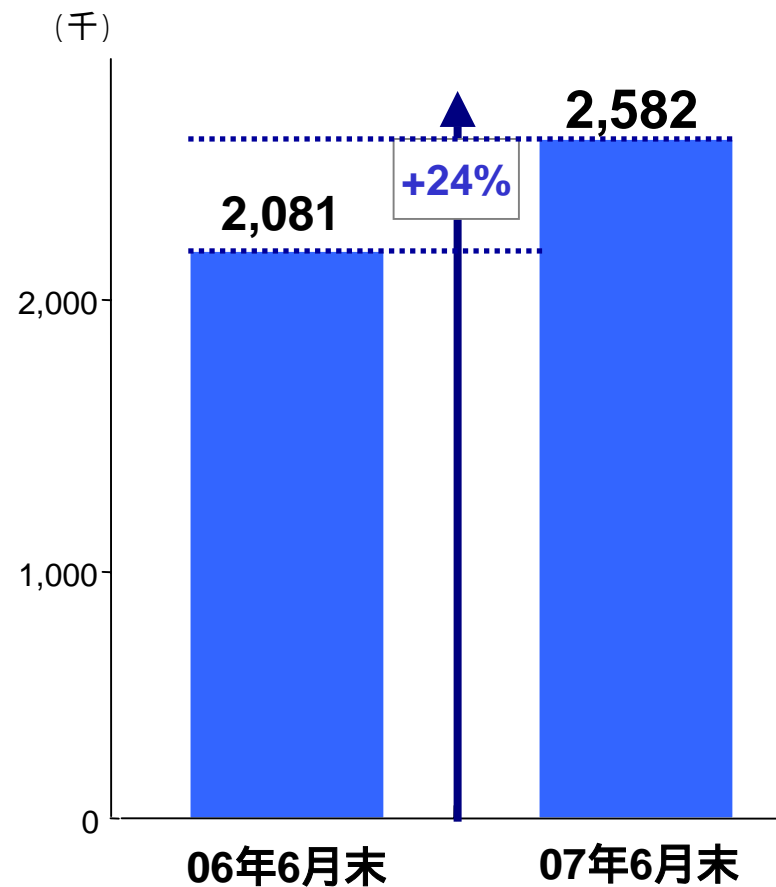
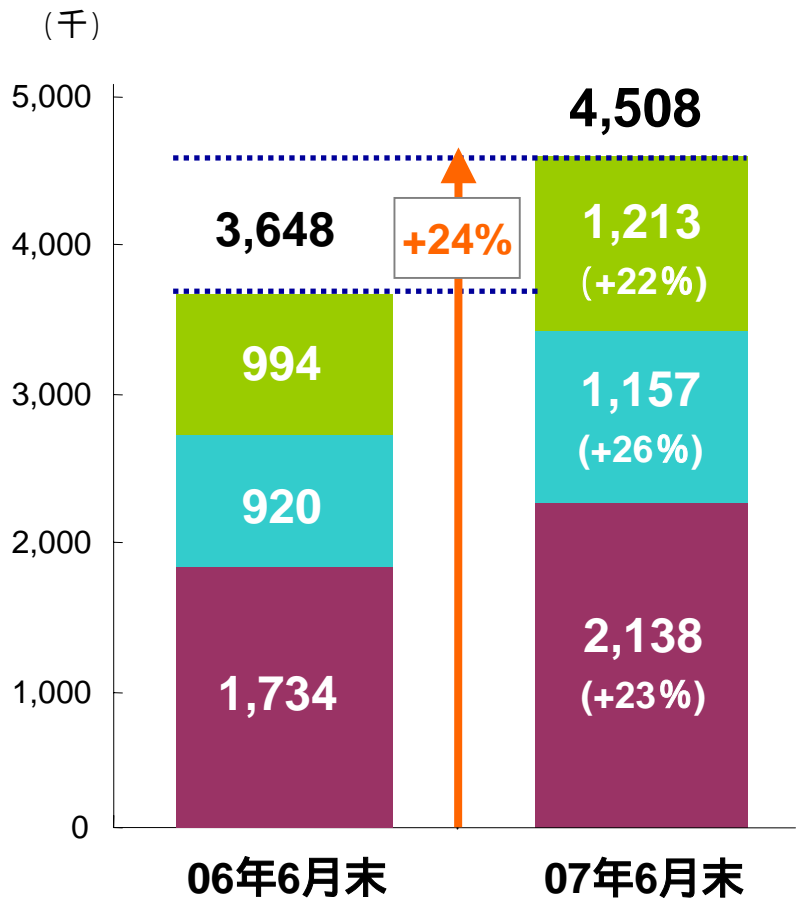
オペレーションの状況

RGU合計と総加入世帯数

(連結ベース)

RGU(サービス提供数)合計

総加入世帯数



■ ケーブルテレビ
 ■ 高速インターネット接続
 ■ 固定電話

新規エリア*と既存エリアでの加入状況

(連結ベース)

既存エリア

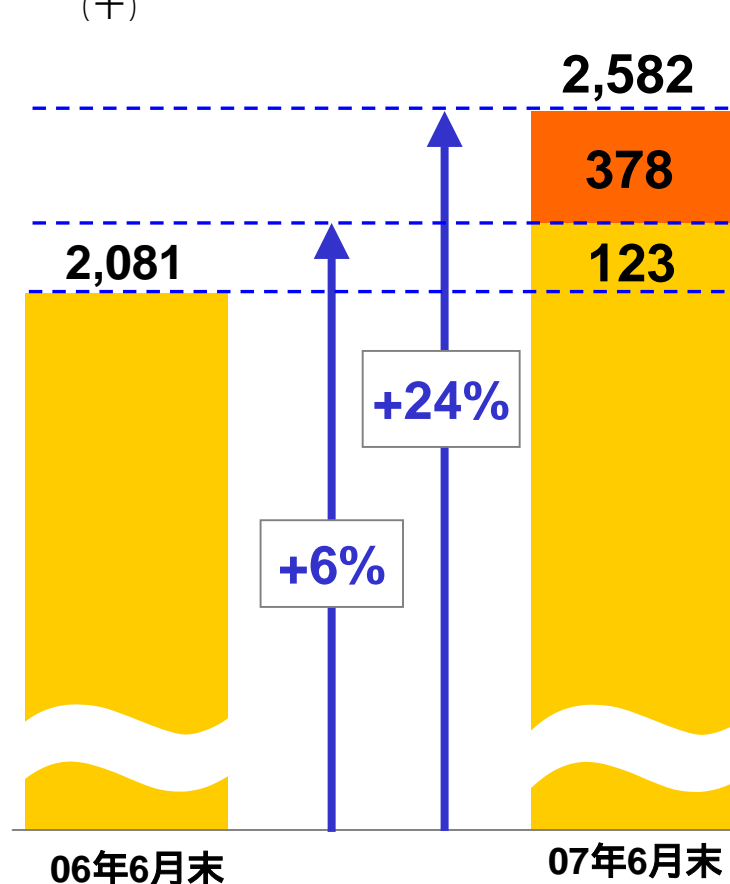
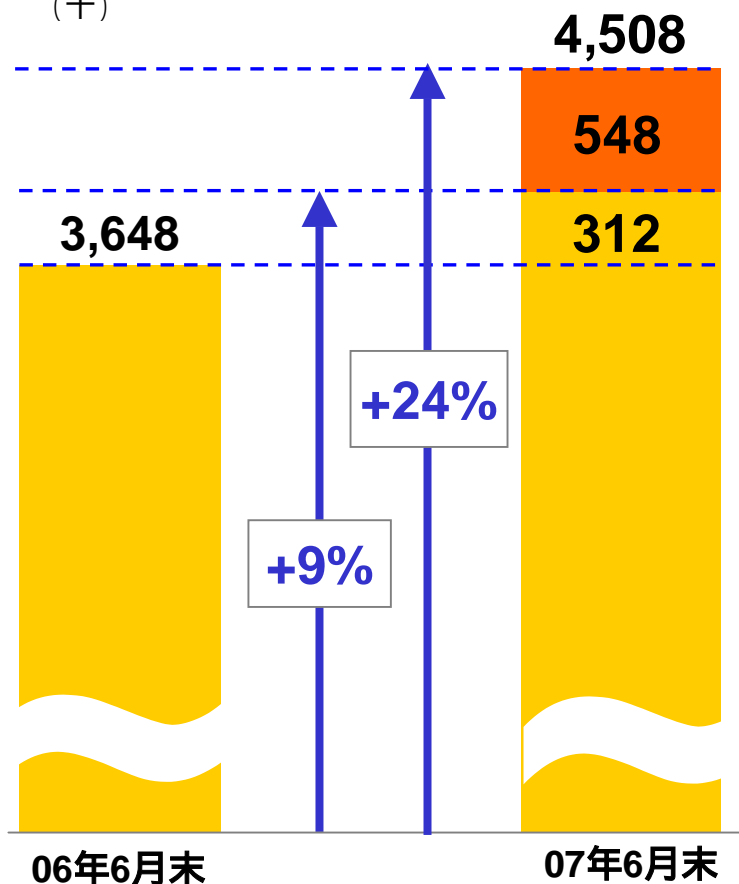
2006年7月以降の新規エリア*
(ケーブルネット下関、ケーブルウエストグループの合計)

RGU合計

総加入世帯数

(千)

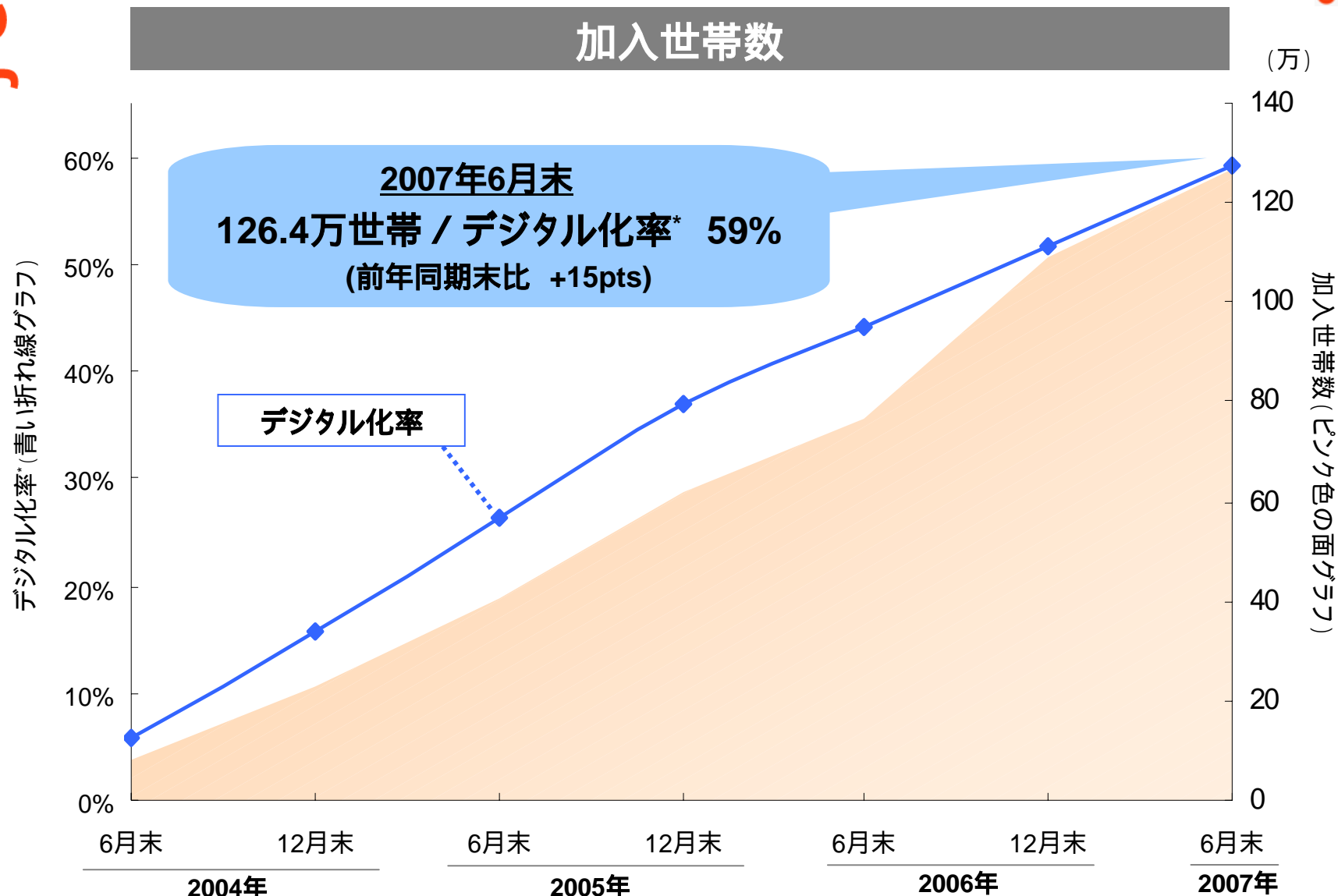
(千)



*新規エリアとは、前年同期末以降に連結対象となったケーブルテレビ会社を指す。

J:COM TV デジタル

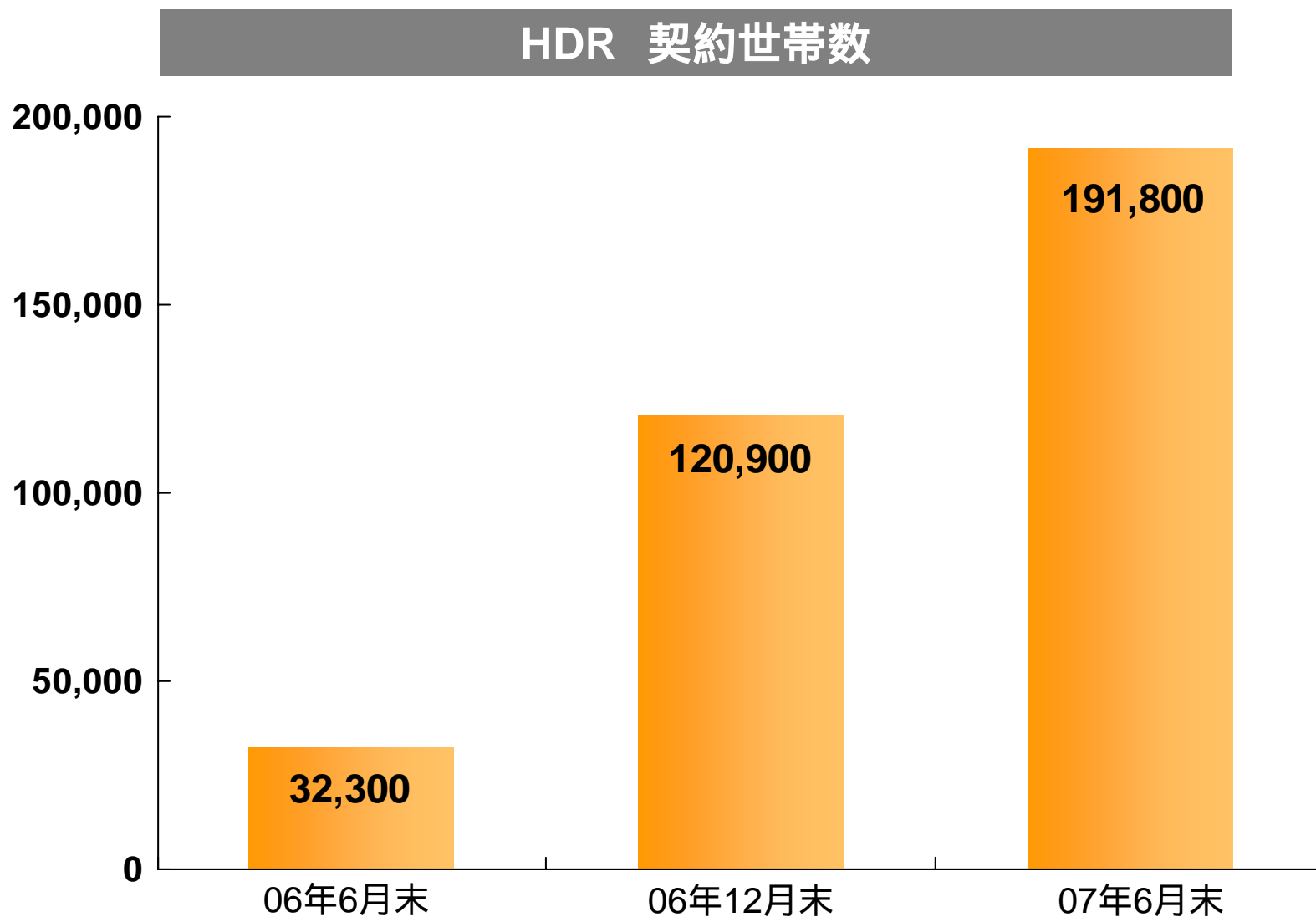
(連結ベース)



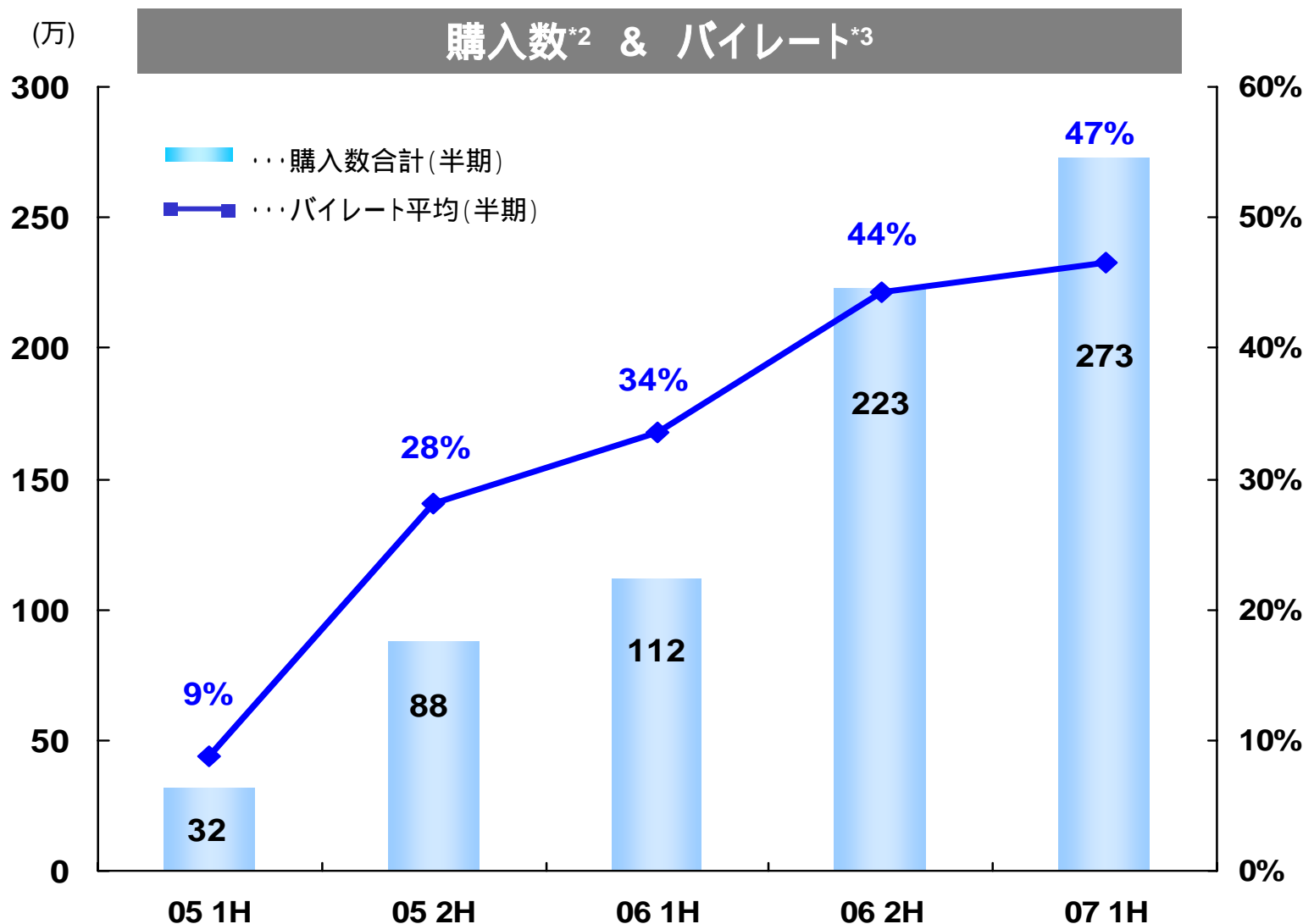
*デジタル化率は、ケーブルテレビ加入世帯におけるデジタルサービス加入世帯の割合を示す。

ハードディスク内蔵STB「HDR」

(グループ内ケーブルテレビ会社の合計)



VOD「J:COM オン デマンド」 (グループ内ケーブルテレビ会社の合計*1)



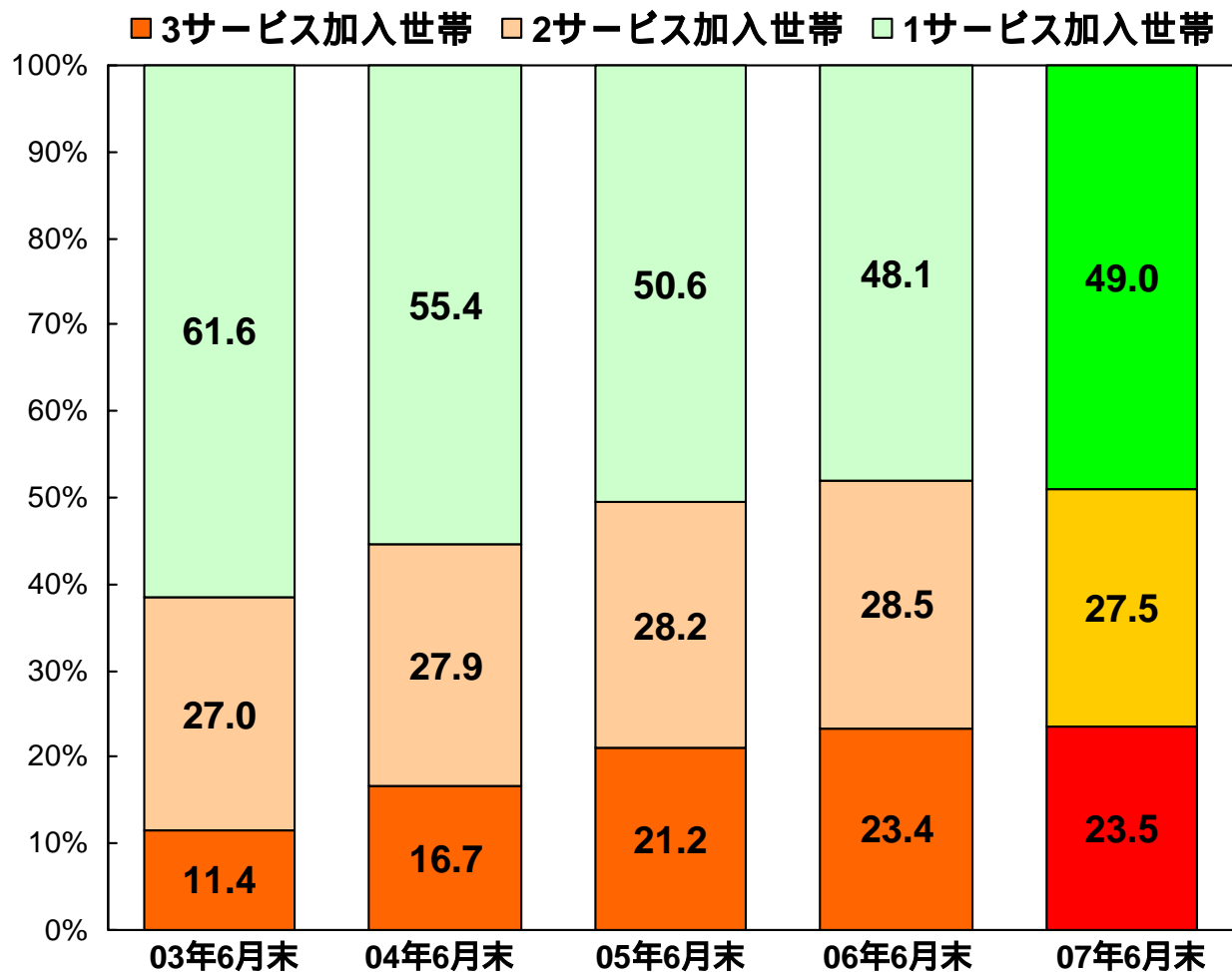
*1:ケーブルウエストグループは含まない。 *2: 購入数 = 「プレミアムオンデマンド(POD)サービス」を利用して有料コンテンツを購入した数

*3: バイレート = 購入数 ÷ STB数 (有料サービスの普及利用状況を図る主要な指標の一つ。 購入頻度の目安。)

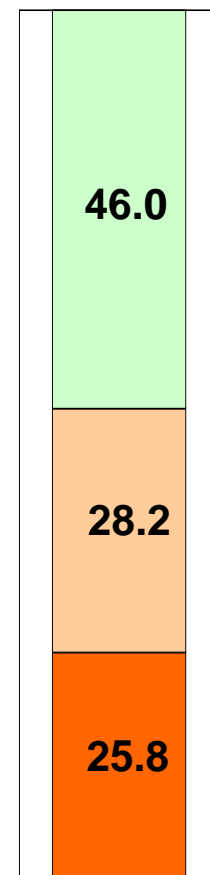
バンドル化の推移

(連結ベース)

加入サービス数別の世帯構成比



【参考値:07年6月末】

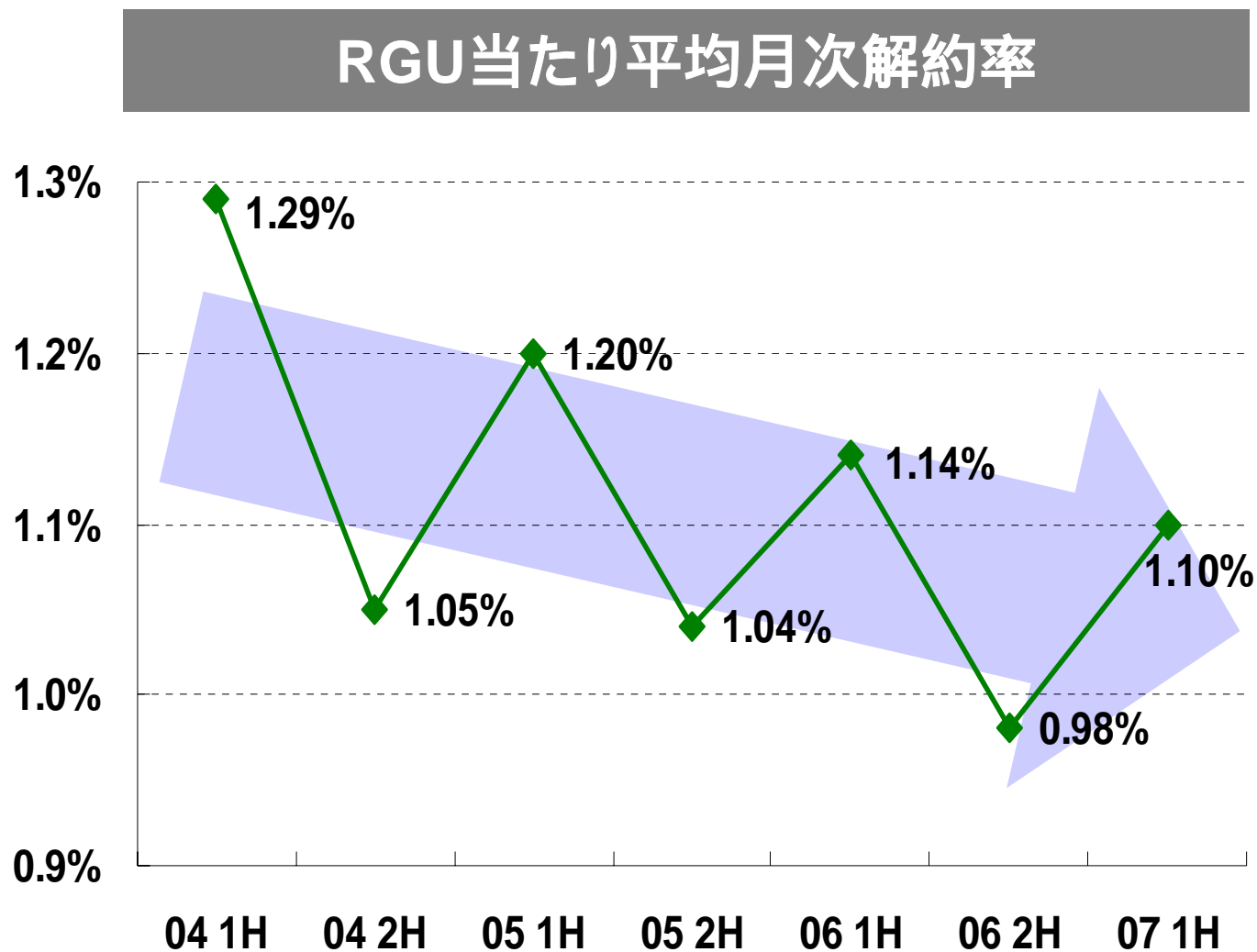


連結会社

(ケーブルウエスト除く)

平均月次解約率*の推移

(連結ベース)

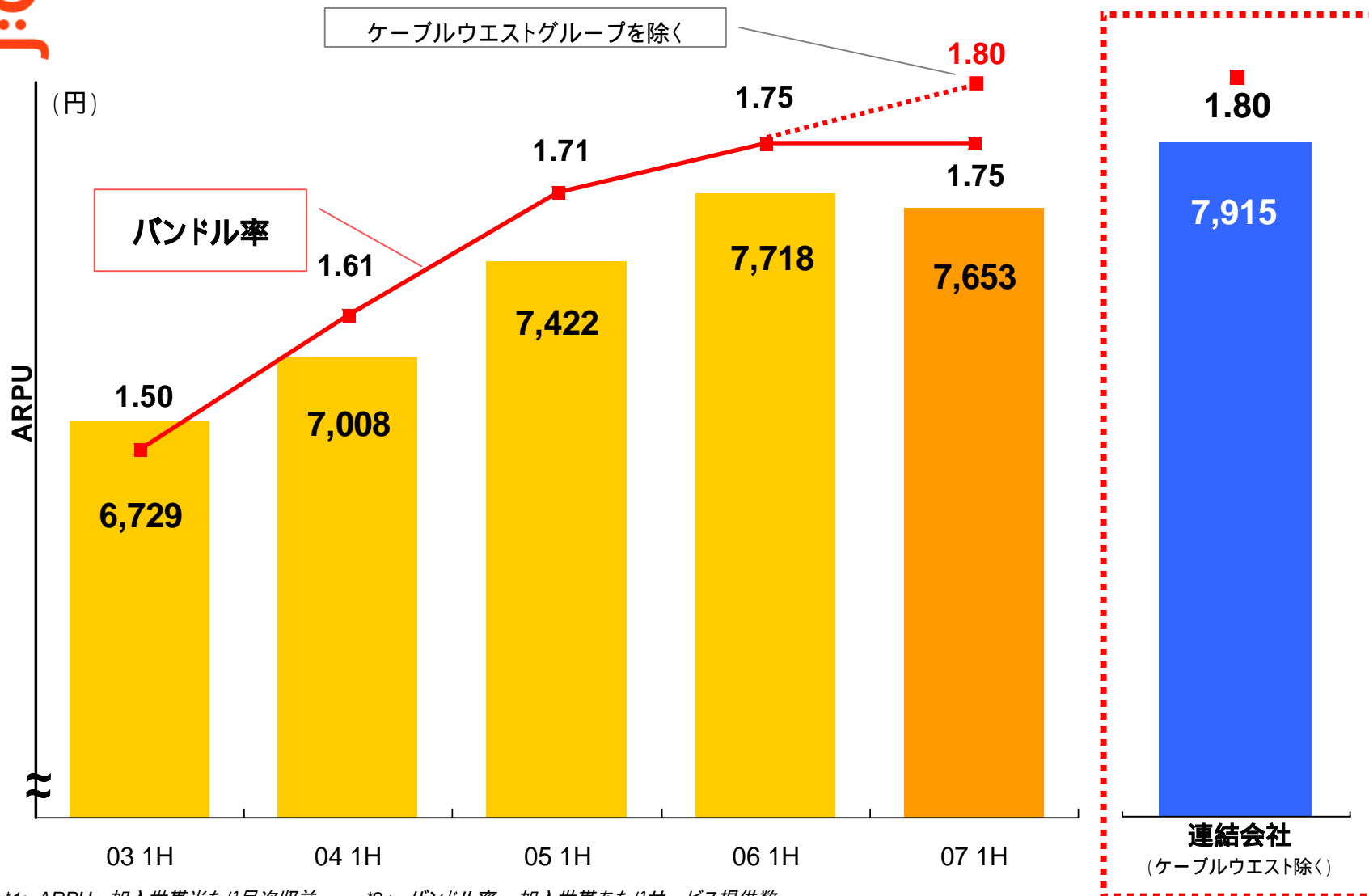


*平均月次解約率=(当該期間における解約サービス数合計)÷(当該期間の加重平均RGU数)÷(当該月数)

ARPU^{*1}とバンドル率^{*2}の推移

(連結ベース)

【参考値:07 1H】



*1: ARPU= 加入世帯当たり月次収益

*2: バンドル率= 加入世帯あたりサービス提供数



重点施策の状況

2007年の重点施策

- ジュピターTVとの合併による新たな成長戦略の推進
- チャンネルラインナップの強化
- 160Mbps超高速インターネット接続サービスの導入
- 新たな付加価値サービスの提供
- 広告メディア事業の強化
- 販売チャネルの複層化
- 組織再編による効率経営の推進

ジュピターTVとの合併による新たな成長戦略の推進

多チャンネル市場の拡大

ジュピターテレコム[®]の成長戦略

コンテンツの質向上



- ・魅力ある番組の制作・編成
- ・事業者間の合従連衡

ボリューム

- ・M&A
- ・加入率向上

+

バリュー

- ・デジタル化
- ・バンドル化

+

新規事業

- ・広告メディア事業

J:COM

チャンネルラインナップの強化



HDチャンネル

ベーシックチャンネル

女性向け総合エンターテインメント・チャンネル

(2007年4月開始)

LaLa HD



「クローザー」™ & © Warner Bros. Entertainment Inc.

釣り専門チャンネル

(2007年8月開始予定)

釣りビジョン



「Go Slow」 釣りビジョン

プレミアムチャンネル

スポーツ専門チャンネルのハイビジョン放送

(2007年7月開始)

J sports Plus



世界最大の自転車レース「ツール・ド・フランス」
(c) Yuzuru SUNADA

宝塚歌劇専門チャンネル

(2007年5月開始)

TAKARAZUKA SKY STAGE



©宝塚歌劇団

本格的クラシック音楽専門チャンネル

(2007年4月開始)

クラシカ・ジャパン



小澤征爾指揮
ヴァルトビューネ・コンサート1993
『ロシアン・ナイト』

韓国総合エンターテインメントチャンネル

(2007年6月開始)

Mnet



『東方神起』 ©CJ Media, INC.

160M 超高速インターネット接続サービスの導入

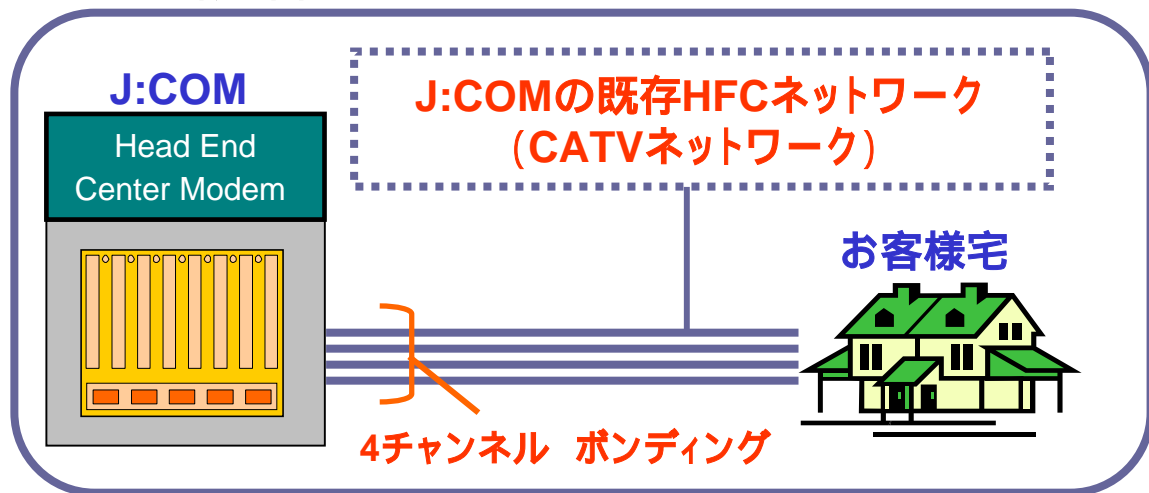
目的

- FTTHとの競合
- お客様満足度の向上

概要

- J:COMの既存HFCネットワークを利用
- 本年4月、関西地域の一部で提供開始
- 戸建住宅及び小規模集合住宅向け
- FTTHを上回るスピード

【システム概念図】

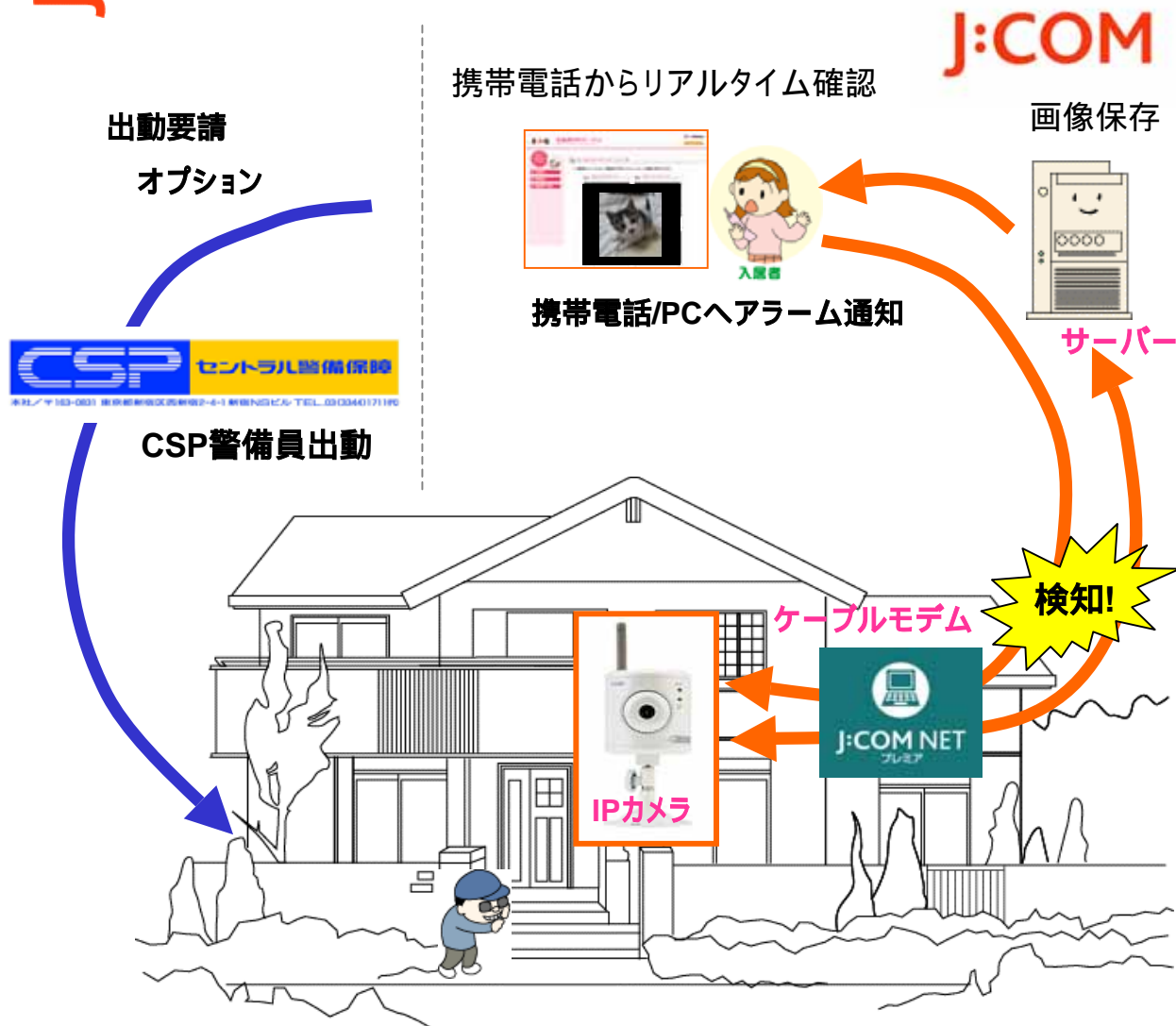


<今後のスケジュール>

- 2007年9月：
関西全局
- 2007年10月：
ジェイコムせたまち
(世田谷区、町田市等)
- 2008年以降：
関東、九州、札幌

新たな付加価値サービスの提供

ホームモニタリングサービス 『安心見守りサービス』



サービス概要

1. IPカメラによるセルフモニタリングサービス
2. セントラル警備保障(株)によるセキュリティサービスをオプション提供

月額費用(税抜)
 【基本パック】
 ¥ 800
 (オプション)
 【CSP要請出動サービス】
 ¥ 700

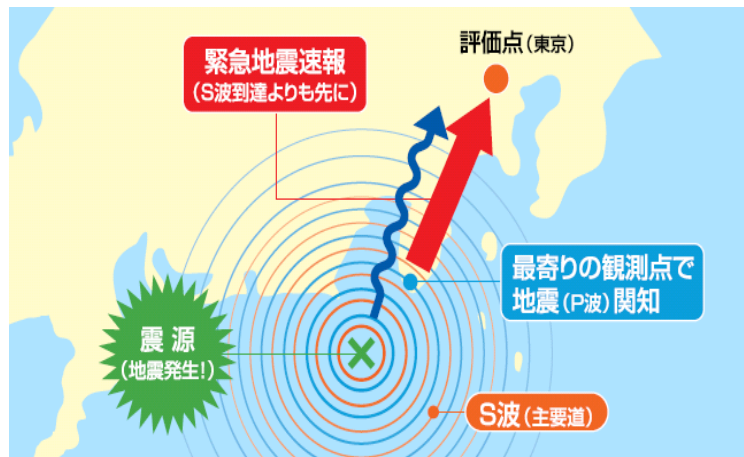
新たな付加価値サービスの提供



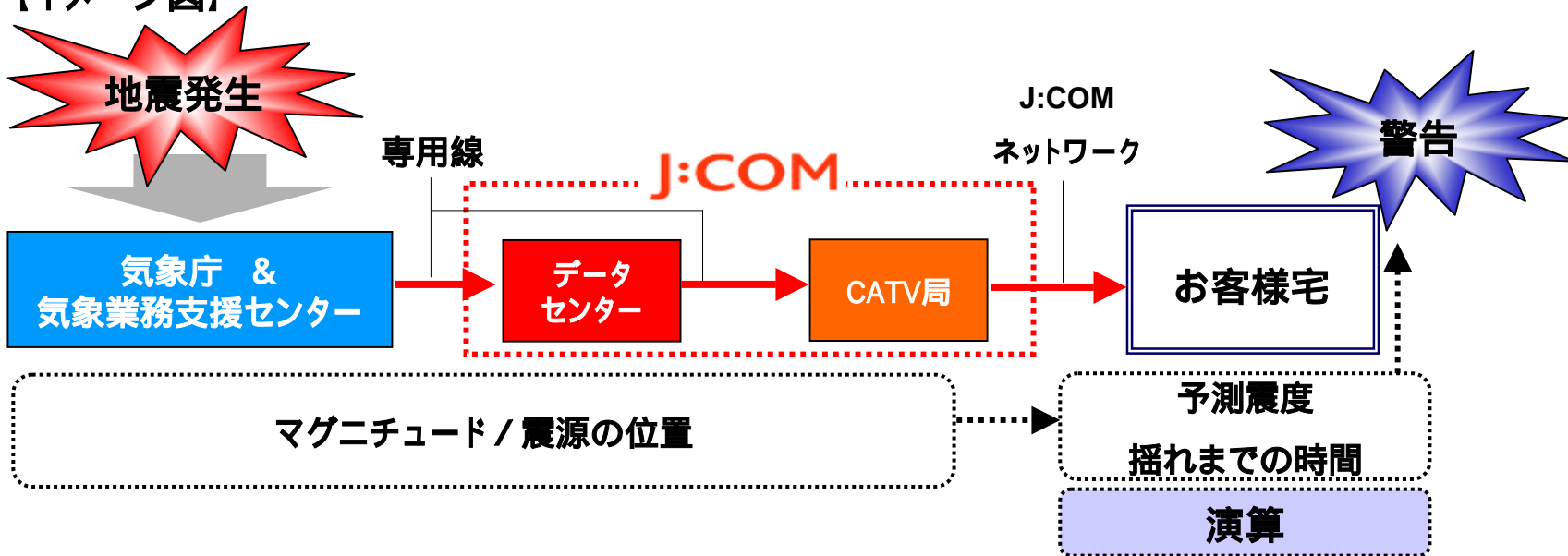
緊急地震速報サービス

- ◆ J:COMの既存ネットワークを活用
- ◆ 地域の安心・安全に貢献

- ◆ 2007年10月より提供開始予定



【イメージ図】

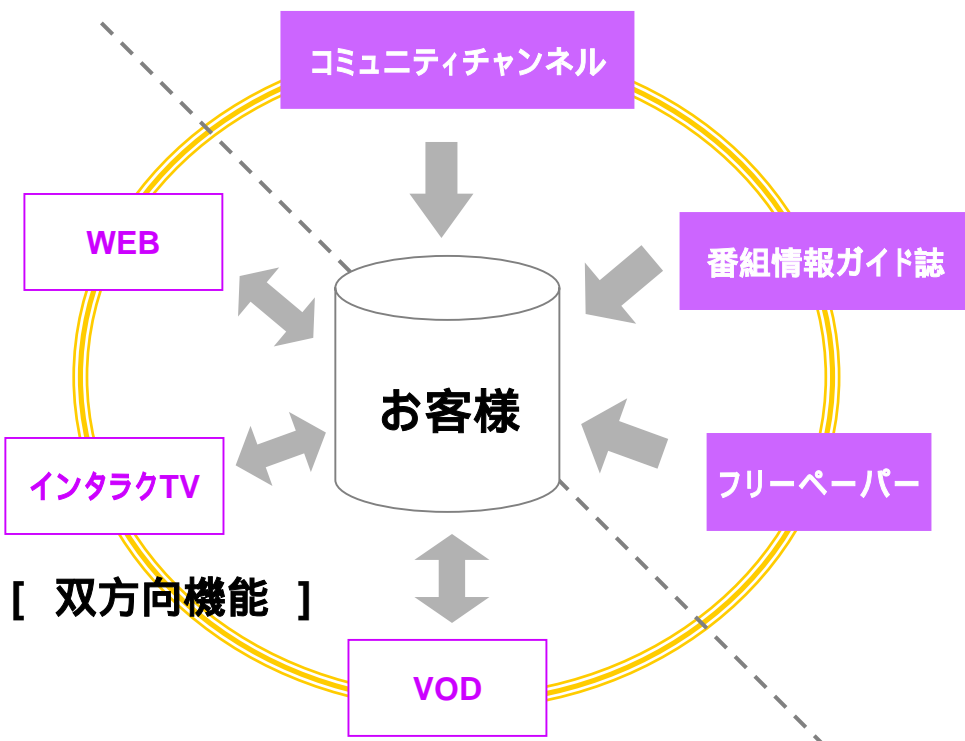


広告メディア事業の強化

収益源の多様化によって事業規模の拡大と安定を図る

「自社メディア」を複層的に組み合わせ、ターゲットのお客様層へ効果的に訴求

<クロスメディア型の広告モデルを提供>



VODを活用したレスポンス型広告

VOD画面での映像視聴によって、資料請求やクーポン取得が可能

[9月配信予定]

メルセデス・ベンツ「Cクラス」



Mercedes-Benz

「アーサーとミニモイの不思議な国」

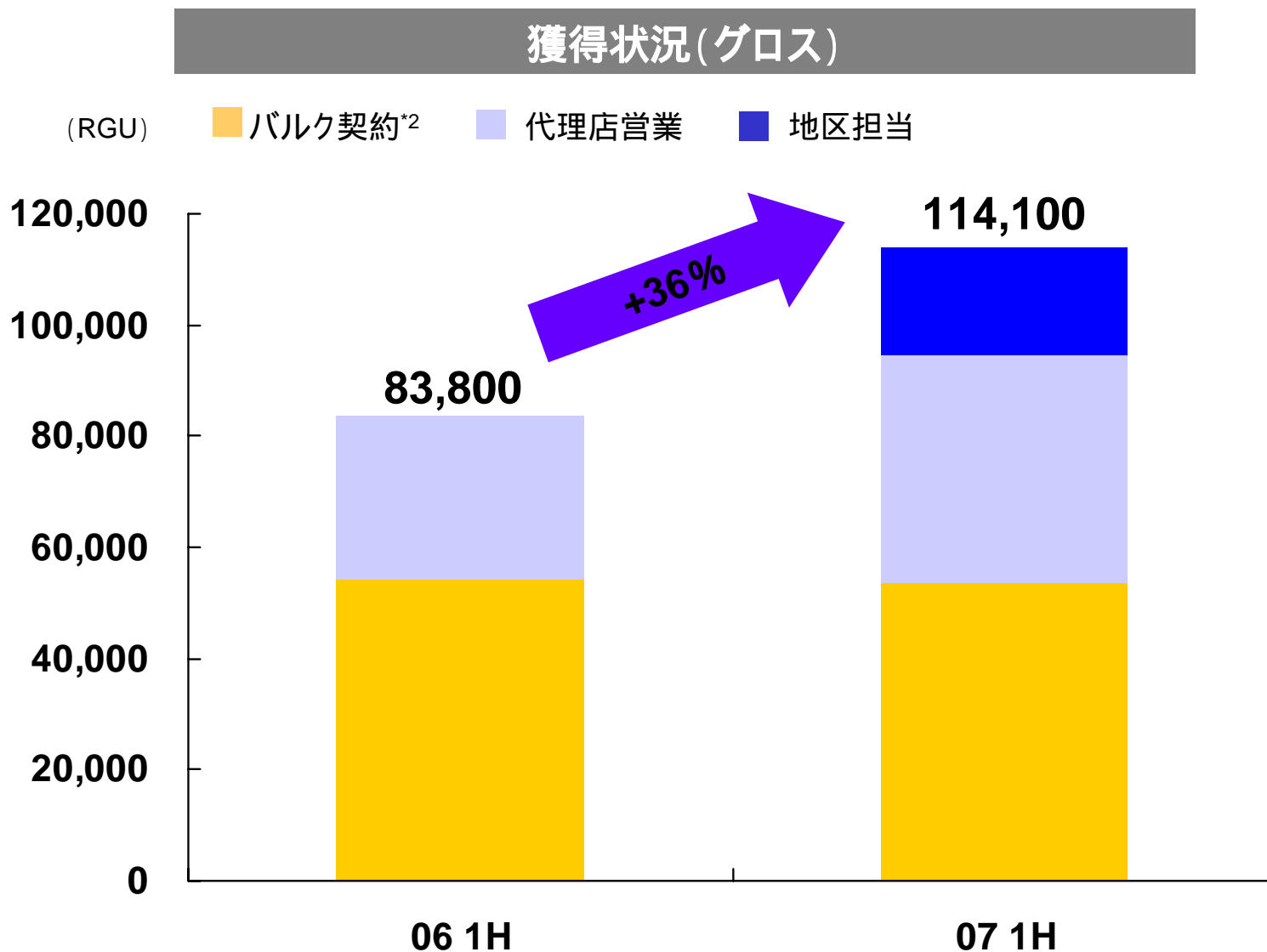
9月より全国ロードショー



©2006 EUROPACORP
-AVALANCHE PRODUCTIONS
-- APIPOULAI PROD

販売チャネルの複層化

(グループ内ケーブルテレビ会社の合計*1)



*1: ケーブルウエストグループを含まない。

*2: バルク契約の獲得数は契約対象のRGU合計であり、割引率に応じて換算したRGUとは異なる。

組織再編による効率経営の推進

目的

経営効率の向上

- 重複機能の統合
- 柔軟かつ機動的な経営の執行
- 地域密着事業のさらなる推進

主な施策

【関西】 地区本部の新設

7月1日

【関東】 ケーブルテレビ会社3社の合併
(関東、調布、せたまち)

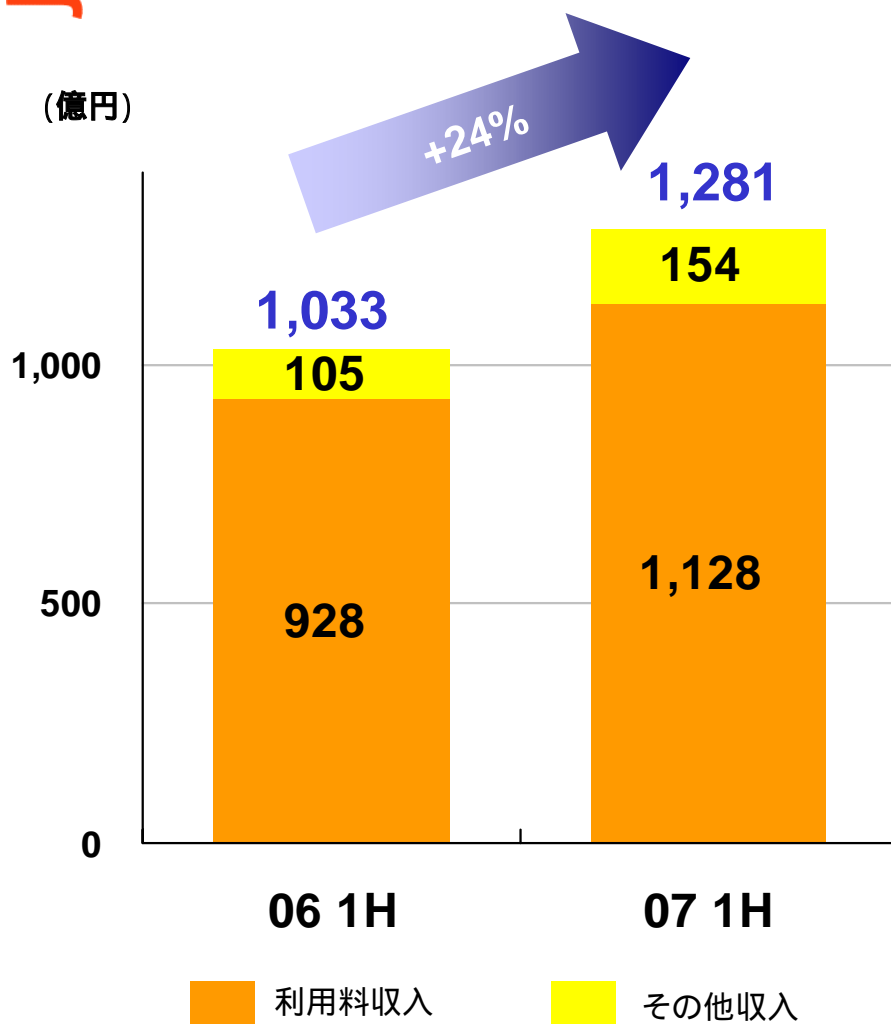
8月1日

ジュピターTVとの合併後の組織再編

9月1日



財務面の解説



補足説明

利用料収入 1,128億円 (+200億円、+22%)

[内訳]

ケーブルテレビ	605億円 (+125億円、+26%)
高速インターネット	326億円 (+49億円、+18%)
電話	196億円 (+26億円、+15%)

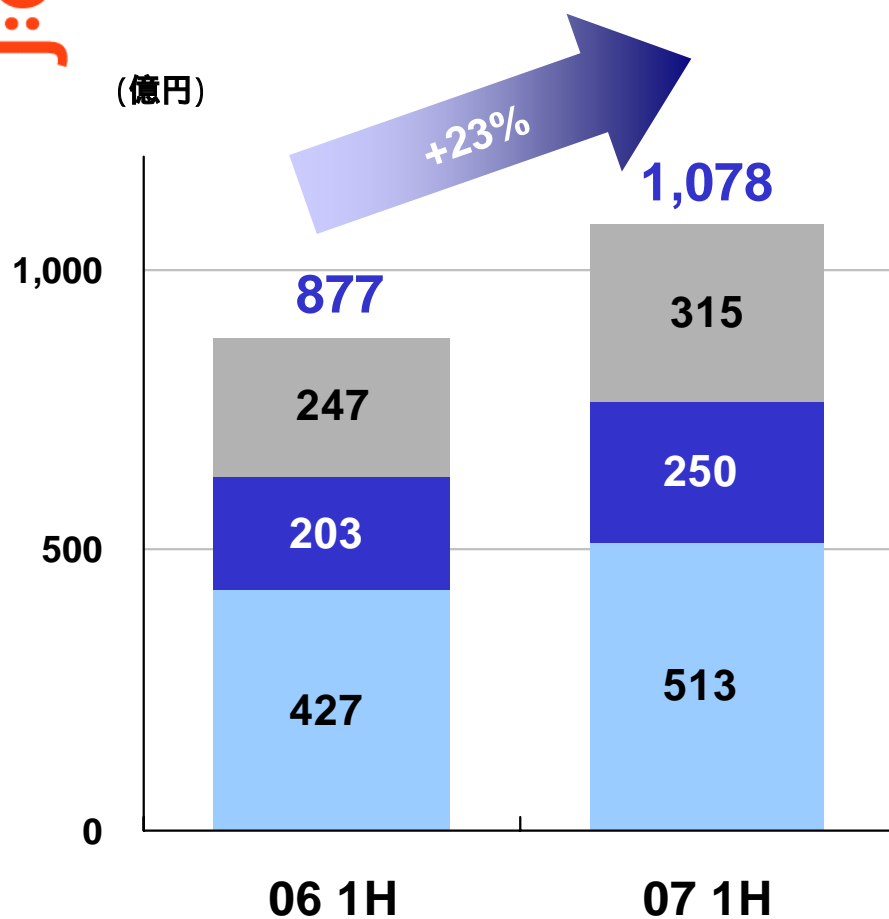
[増収の要因]

- 加入世帯数の増加
- デジタルサービス加入世帯数の増加
- ケーブルネット下関、ケーブルウエストの連結子会社化

その他収入 154億円 (+48億円、+46%)

- 連結子会社の増加
- 電波障害関連収入、工事収入、設置料収入、広告収入、番組制作収入等の増加

* サービス別の利用料収入は億円未満を四捨五入して表記しているため、それらの合計と利用料収入は一致していません。



補足説明

番組・その他営業費用 (+20%)

- 連結子会社の増加
- 加入世帯増に伴う関連費用の増加

販売費・及び一般管理費 (+23%)

- 連結子会社の増加
- 人件費の増加

減価償却費 (+28%)

- 連結子会社の増加
- 新規加入世帯に係る固定資産の増加

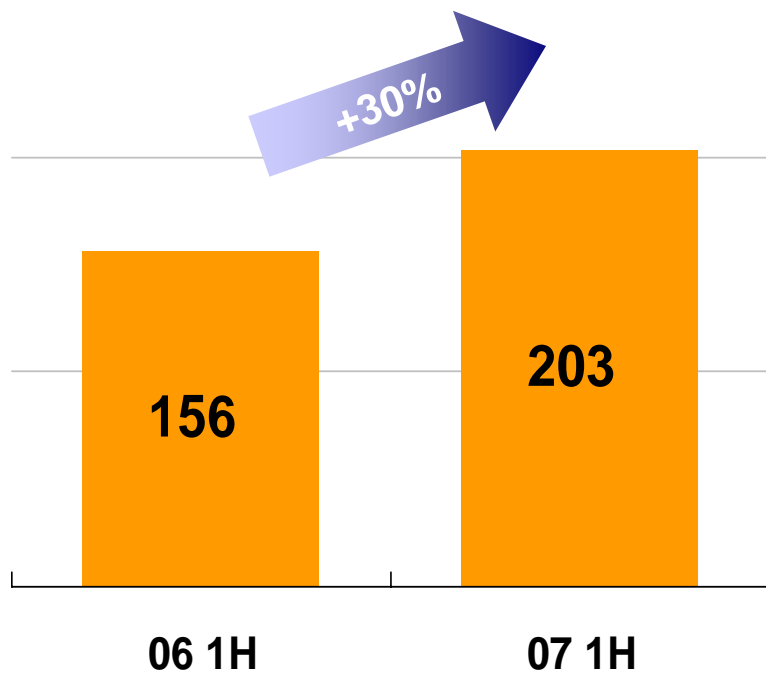


営業利益、税引前純利益

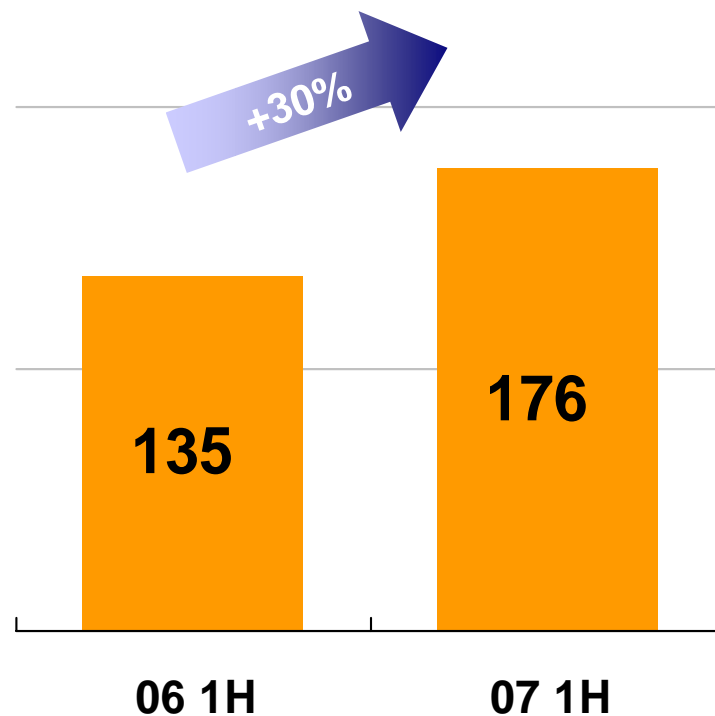
[米国会計基準]

(億円)

営業利益



税引前純利益



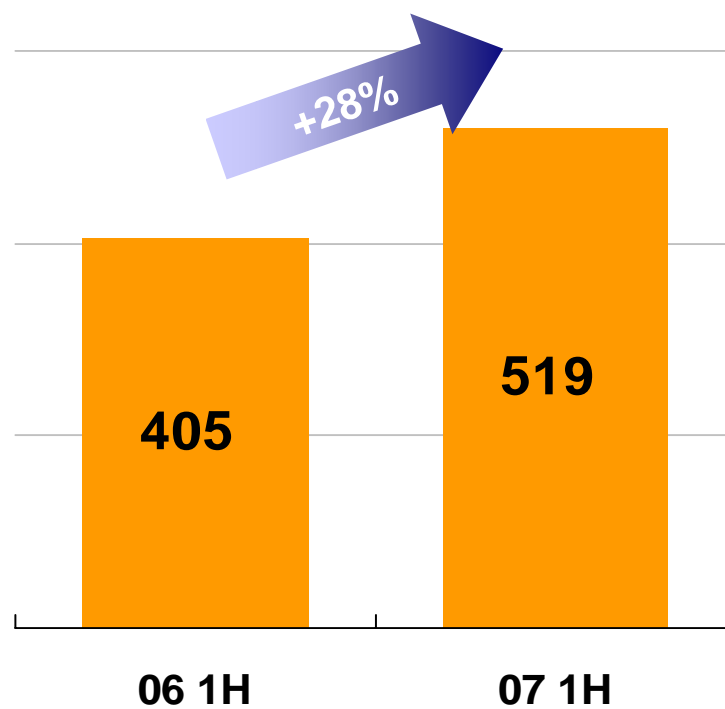
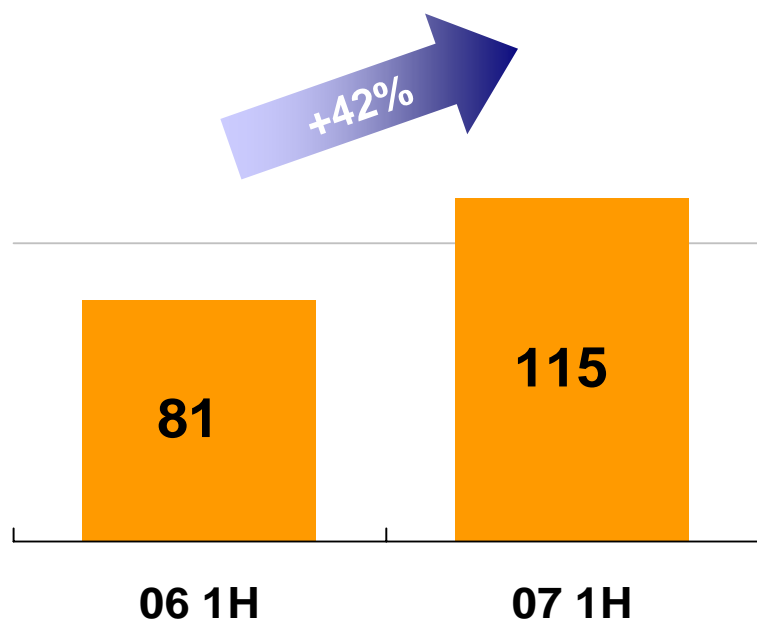
純利益、OCF*

[米国会計基準]

(億円)

純利益

OCF*

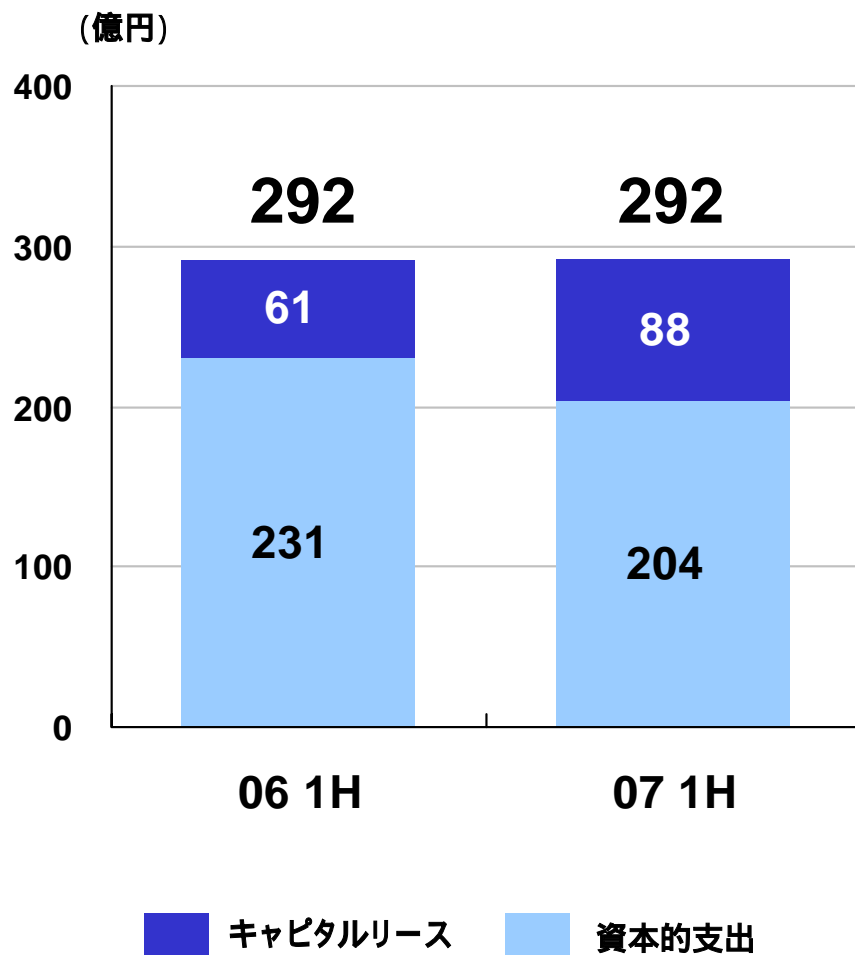


補足説明

- 法人税等の比率 34.5% (5.4pts)
- ・ 連結子会社の再編により、法人税の負担が減少。

*OCF = (営業収益) - (番組・その他営業費用)
- (販売および一般管理費) + (株式報酬費用)

補足説明



資本的支出 -27億円 (-12%)

- 新規買収会社向け幹線分配線設備及びヘッドエンド設備の一巡

キャピタルリース +27億円 (+44%)

- 連結子会社数の増加
- STBリースの増加
(前年Q2よりHDR導入開始)

ケーブルウエストグループの影響(営業収益・OCFの分解)

[米国会計基準]

2007年中間期実績

(億円)	ケーブルウエストを 除く連結会社合計	ケーブルウエスト	内部取引 消去	合計
営業収益	1,165	141	25	1,281
OCF*	470	49	-	519

* OCF(オペレーティング・キャッシュ・フロー) = (営業収益) - (番組・その他営業費用) - (販売および一般管理費) + (株式報酬費用)

連結キャッシュ・フロー

[米国会計基準]

(億円)	07年 中間期	06年 中間期	実績の概要
営業活動によるキャッシュフロー	472	371	OCF 519億円
投資活動によるキャッシュフロー	248	247	
フリーキャッシュフロー*	180	79	
財務活動によるキャッシュフロー	135	123	長期借入金の元本返済(81億円) キャピタルリースの元本支払(79億円) 等

*フリーキャッシュフロー = (営業活動によるキャッシュフロー) - (資本的支出) - (キャピタルリース)

2007年12月期 連結業績の見通し

[米国会計基準]

	2006年通期	2007年中間期	2007年通期
	実績	実績	予想
営業収益	2,219億円	1,281億円	2,630億円
営業利益	316億円	203億円	375億円
税引前純利益	275億円	176億円	310億円
純利益	245億円	115億円	205億円
OCF*	860億円	519億円	+20%前後

(注) 2006年の当期純利益には評価性引当金47億円の取り崩しが含まれており、その要因を除くと2007年の当期純利益は実質増益となる見込みです。

* OCF(オペレーティング・キャッシュ・フロー) = (営業収益) - (番組・その他営業費用) - (販売および一般管理費) + (株式報酬費用)

このプレゼンテーションに記載された当社の財務情報は、米国会計基準に基づき計算されたものであります。

このプレゼンテーションには、当社の計画と見通しを反映した将来予想に関する記述を含んでおります。かかる将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否等、不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績はこのプレゼンテーションに記載されている将来予想に関する記述とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

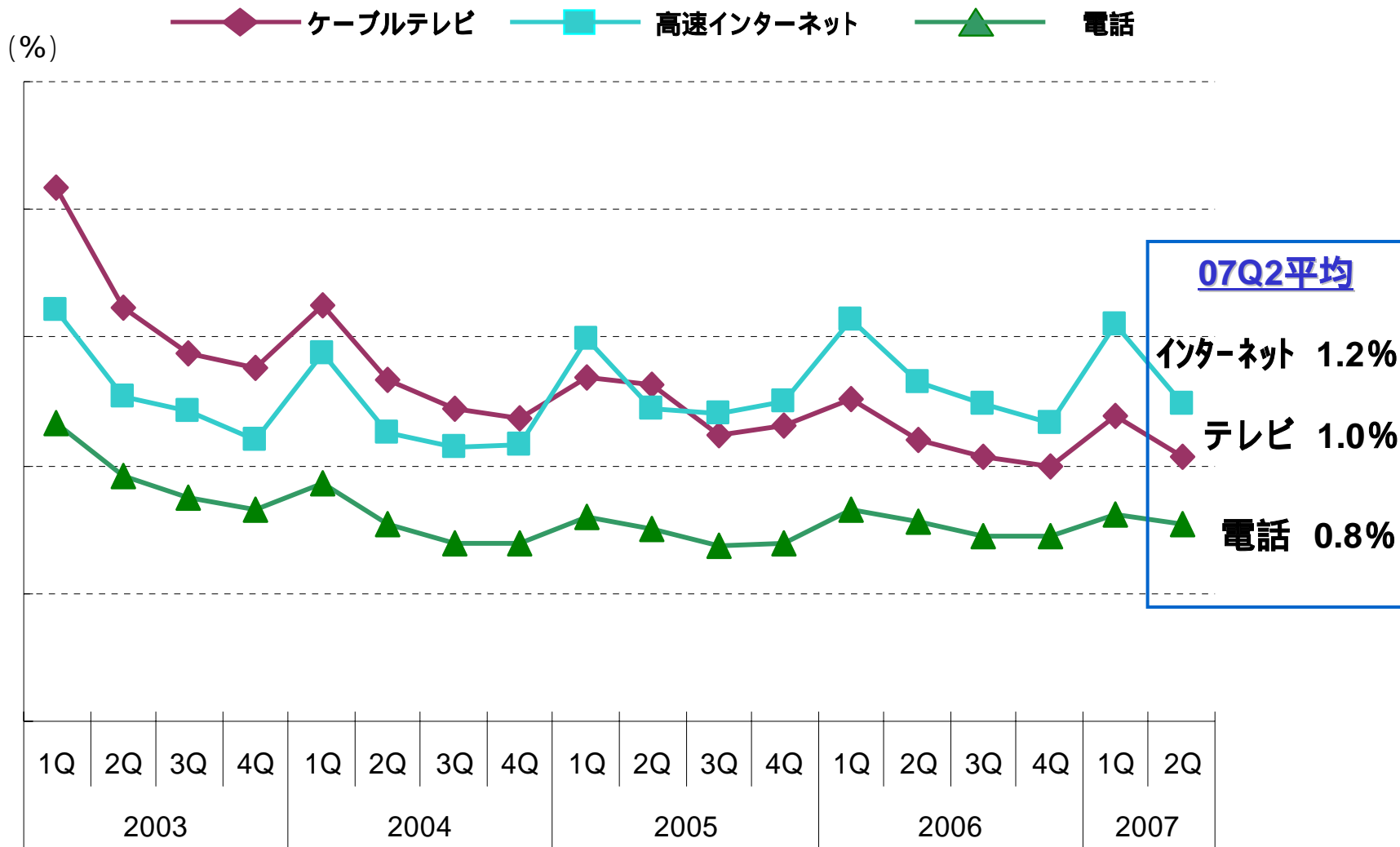
また当社は、このプレゼンテーション後において、かかる将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

参考資料 Appendix



平均月次解約率^{*1}の推移

(連結ベース^{*2})

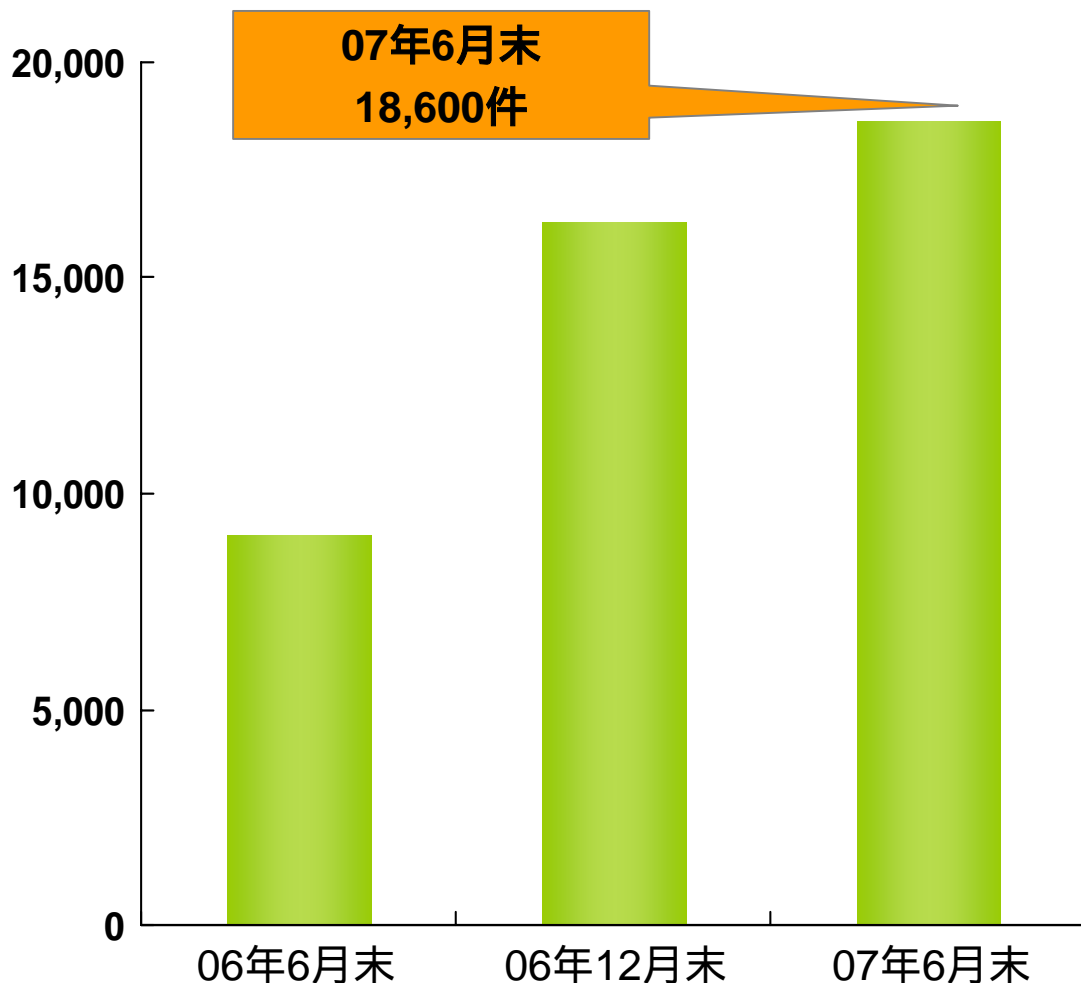


*1: 平均月次解約率=(当該期間における解約者合計)÷(当該期間の平均加入世帯数)÷(当該月数)

*2: ケーブルウエストグループを含まない。

「J:COM MOBILE」の加入状況 (グループ内ケーブルテレビ会社の合計)

J:COM MOBILE 契約回線数



* ケーブルウエストグループはサービス未提供。

新機種の導入
2007年9月上旬より提供

J:COMオリジナルモデル
『WX320K』

J:COM